



第5学年 外国語科 Unit7 「Welcome to Japan.」

～ゲイル先生に日本のことをよく知ってもらうために、四季折々の年中行事など日本文化を紹介する～

＜関係する領域別目標＞ 話すこと [発表] ウ、書くことイ

授業者

HRT 田辺 雄太
ALT ステファニー・リュ
JTE 山下 幸甫

単元を描く

10/13
教材研究会

①「学習者用デジタル教科書の効果的な活用について」

デジタル教科書の特徴

- ①音声や動画を視聴できる
＜音声＞歌、チャンツ
＜動画＞児童の活動場面、海外資料映像、アルファベットの書き順など
- ②書き込み・保存ができる
- ③リンクを自由に貼ることができる
- ④「教科書」と「Picture Dictionary」の2画面表示ができる
- ⑤特別支援への対応
*日本語本文をルビ付き、分かち書きで表示できる。
*紙面の配色や明るさを変えることができる。
[引用：東京書籍HPより]

協議より

学習者デジタル教科書の活用のよさ

- ◎児童1人1人が自分のペースで書き込みができ、消す手間なく何度もやり直せること。
- ◎個々のニーズに合わせて音声や動画を確認し、言語活動をより良くすることができること。



まずは、子供と一緒に日々活用することが大切!

②「目指す子供の姿に向けた単元計画になっているか」

協議より

単元計画 (言語活動)

1	自分が好きな季節や日本文化を友達と話す [We have ~in OO.]
2	好きな年中行事とその理由を友達と尋ね合う。 [Why do you like ~? You can ~.]
3	外国の文化の特色について調べ、自分の考えも含めて話す。 [We have ~in OO. You can ~.]
4	ゲイル先生に紹介したい日本の年中行事や文化について自分の気持ちも含めて友達と話す。 [I like ~. It's ~.]
5	ゲイル先生に紹介したい日本の年中行事や文化についてポスターに書く。
6	ゲイル先生に紹介したい年中行事や文化について、質問も交えて友達と話す。 [Do you like ~? Do you know ~?]
7	紹介したい年中行事や文化について、ゲイル先生に話し、話した内容を書く。
8	

毎時間、書きためていく

3、4時間目だけ外国の文化を紹介するのは、子供の思考としてスムーズか。単元始めに、ALTに紹介してもらい外国の文化を知った上で、日本の文化を考えていく流れがよいのではないかと。

7時間目は、ある程度表現が完成に近いので、多くの気付きを引き出す単元前半の授業が見たい。

「書くことイ」は5年生にとって難しい。評価規準からどのような姿をねらっていくのかを明確にしておく必要がある。

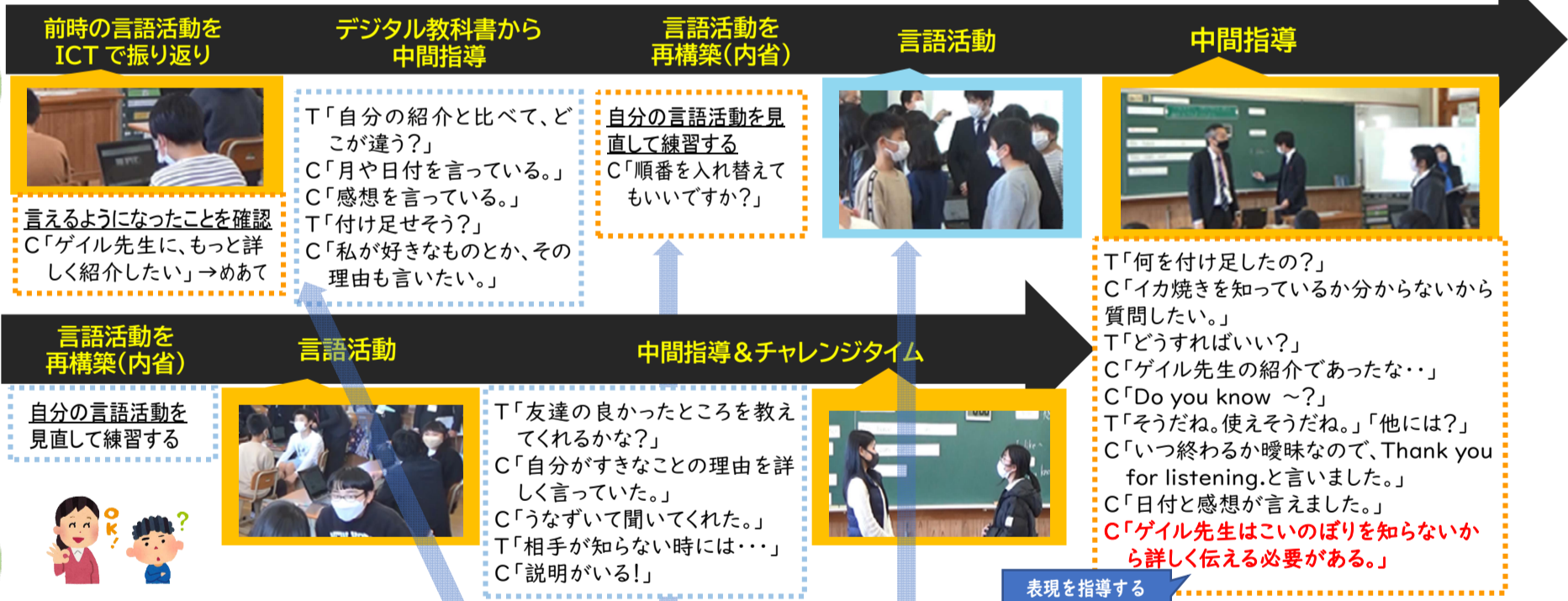
変更点

- ★1、2時間目に複数のALTからの話を聞くことで外国の文化を知り、単元通して日本文化について言語活動を行う。
- ★公開授業は5時間目
- ★「書くこと」ワークシート活用し、指導と評価を適切に行う。

本時を描く

2/27
授業研究会

講話



講師：文部科学省初等中等教育局
直山 木綿子 視学官

*「授業をしてみたい」と思わせてくれる子供たちでした。「みんなで勉強を頑張っていこう」「盛り上げていこう」ということが伝わってくる子供たち。また、多くの活動を分刻みでやりきれぬことは、日頃の学級経営がしっかりとできているからですね。

*子供たちは、日本語を単語レベルでなく、きちんと文章で話せていました。母語でできないことを外国語でできるはずがないですね。国語科は、もちろんのこと全教科で表現力を鍛えていくことが大切です。

言語活動を通して指導する
-中間指導 and 練習-

中間指導では、「言語活動の目的・場面・状況に合った内容であるか」「どのような表現を使えば相手に伝わるか」について指導することが大切です。

子供から出た「詳しく紹介したい」から、『ゲイル先生に日本に来て良かったと思ってもらうため』という相手や目的意識をもたせることで、全員がどんなことに気をつけるか考えさせることが大切。

児童A
We have Children's Day in spring.
It's May 5th.
You can see Koinobori.
It's beautiful.

言いたいことを取り上げ、「みんな、どうしたらいい?」と広げ、どのような既習表現を使えば伝わるのかをクラス全体で考え、子供たちが解決させていくことが大切です。みんな同じような課題を抱えているからです。また、自信をもって言えるようになるまで繰り返し練習し、表現力を鍛えていくことが大切です。

「こいのぼり」を知らないゲイル先生に必要な説明(「内容&表現」)を引き出すまでの指導

T:What's Koinobori?
T:こいのぼりを思い浮かべて、何が見える?
T:いいね!ということはいくつあるの?
T:いいね!じゃあどこにいるの? in the river?
T:英語で何て言うの?
T:空で何しているの?
T:何て言うの?
T:つなげて言ってみて。
T:誰が泳いでいるの?
T:空の中でってどう言うの?
T:もう一回言って(5回)

A:Fish.
A:Red, blue, black.
A:Three.
A:空
A:Sky.
A:泳ぐ
A:Swim.
A:swim sky.
A:Koinobori swim sky.

Koinobori swim in (the) sky.

落ち着いた学習に必要な
内省[Thinking Time]

友達とのやり取りや中間指導の後、内省【自分の言語活動をメタ認知する】時間(1分程度)を取ることで、子供たちは新しく得た情報を基に、自分の言語活動のブラッシュアップを図ることができるようになります。